

# 第3回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会



2011年 9月30日(金)

10:00~12:00

於：旭川市保健所棟1階 講座室

## 第2回懇談会での主な意見内容

### 常磐公園及び周辺の樹木について

旭川市のシンボルである常磐公園の歴史を刻んできた樹木を残しながら、ゆったりとした環境を次世代に残していきたい。

常磐公園の景観や樹木は、過去・現在・未来の時代を共有して、繋いでいく重要な役割を担っている。従って、次世代の子どもたちに、私たちが何を残していくかを考える必要がある。既存の樹木を、自然のまま手つかずの状態ですべて更新を待つのであれば、市民が憩う場所では不適切である。

将来の樹木の姿や管理などを踏まえた計画が必要であり、長期的なビジョンを持つべきである。量的な緑から質的な緑への転換を検討する必要がある。

### 賑わい空間の創出

公園自体の魅力の向上と周辺施設との結びつき（アクセスのしやすさ）が大事である。

七条緑道との結びつきが大事である。

定期的に催されるイベントや、何度も訪れたい風景・施設を考えていく必要がある。

池の水をきれいにすることによって、人々が集まりやすくなる。

公園の入口を含めサイン施設の充実を図ることも必要である。

### 文化・芸術の回廊

美術館と図書館、公会堂の辺りを主軸のラインにして、考えてみても良いのではないかとモニュメントや彫刻の配置を見直す必要がある。

◀.....自動車でのアクセス動線

.....メイン動線（文化・芸術の回廊）

.....メイン動線を補完する動線

課題3  
樹木により深暗い  
↓  
量から質への転換

その他の課題  
照明灯の老朽化  
↓  
長寿命化による更新

課題8  
常盤公園との  
一体感がない  
↓  
法面の緑化と  
動線強化

課題9  
既存樹木により  
暗い雰囲気  
↓  
見通しの利く  
明るい緑へ

課題7  
平常時の  
利用が少ない  
↓  
公園との動線強化

S=1:2000  
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100



その他の課題  
遊具の老朽化  
↓  
遊具の更新

遊びゾーン

観水の鑑れ  
ゾーン

観賞・作景ゾーン

施設周辺区域

常盤館駐車場  
36台

課題1  
駐車場不足  
↓  
新たな駐車場の確保

課題6  
常盤公園との  
一体感がない  
↓  
新たなエントランス  
広場の創出

公会堂駐車場  
34台

課題4  
通行障害  
↓  
一時停車帯の確保

美術館駐車場  
60台

その他の課題  
土の飛散  
広場の利用減少  
↓  
新たな利用方法の  
位置づけ

課題2  
入口の位置が  
わかりづらい  
↓  
統一したサイン  
計画の充実

7条線道との連続化

その他の課題  
トイレの老朽化  
↓  
長寿命化による更新

課題5  
案内標識の不足  
↓  
統一したサイン  
計画の充実

動線・ゾーニング図

凡	例
1	自由広場
2	芝生広場
3	遊戯広場
4	池
5	プール
6	駐車場
7	売店
8	管理棟
9	便所
10	休憩所
11	公会堂
12	駐車場
13	石狩川治水学習館
14	常盤館
15	美術館
16	修景広場
17	図書館
18	天文台
19	噴水
20	テニスコート
21	浄化施設
22	水中デッキ
23	水上テラス
24	ボートのりば
25	管理駐車場
26	地下ポンプビット

## 常磐公園全体 常磐公園の新たな魅力の創出 ～ 常磐公園の景観が継承された心地よい緑地空間の創出～

公園内の樹木は、保全することを前提としながらも、樹木医など専門的見解や、関係団体の意見を聞きながら、中長期的な視野に立って緑の更新を図っていきます。

緑の更新においては、将来目標とする樹林密度を設定し、計画的な植栽を進めていきます。

緑の量的確保から質への転換を進め、四季の訪れや草花の香りなど訪れた人たちが楽しめる緑地空間の創出を目指します。さらに、多くの人たちが利用できる公園とするために、安全、健全、整然（美型）を樹木の管理の原則として管理体制を検討していきます。

多種多様な樹種が観られる緑地空間、また木々に集まる野鳥さえずりが聞こえる空間を目指します。



## 個別計画（案）

常磐公園全体 常磐公園の新たな魅力の創出  
～文化芸術ゾーンを結び回遊性を向上させる公園整備～

美術館と公会堂また、河川空間を結ぶ公園内のメイン園路を“文化・芸術の回廊”と位置づけ、彫刻やモニュメントを始め、公園内のみどりを楽しみながら回遊できる園路として計画します。

美術館と多目的広場また、施設周辺区域を結ぶラインを文化・芸術の主軸として捉え、新たな公園の魅力が高まるよう整備していきます。

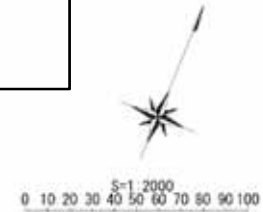
常磐公園全体のモニュメント等を見直し、文化芸術ゾーンとしての魅力の向上を図ることで、来訪者の回遊性を高めるほか、既存の文化芸術施設とのネットワーク化を図り、河川空間や施設周辺区域との一体的な利用を促進します。

既存の彫刻・モニュメントとの統一性に配慮しながら、常磐公園全体に旭川市に深くゆかりのある作品の配置を検討していきます。

野外彫刻回廊として、北彩都地区から平和通買物公園・7条緑道を経た動線の連携を図っていきます。

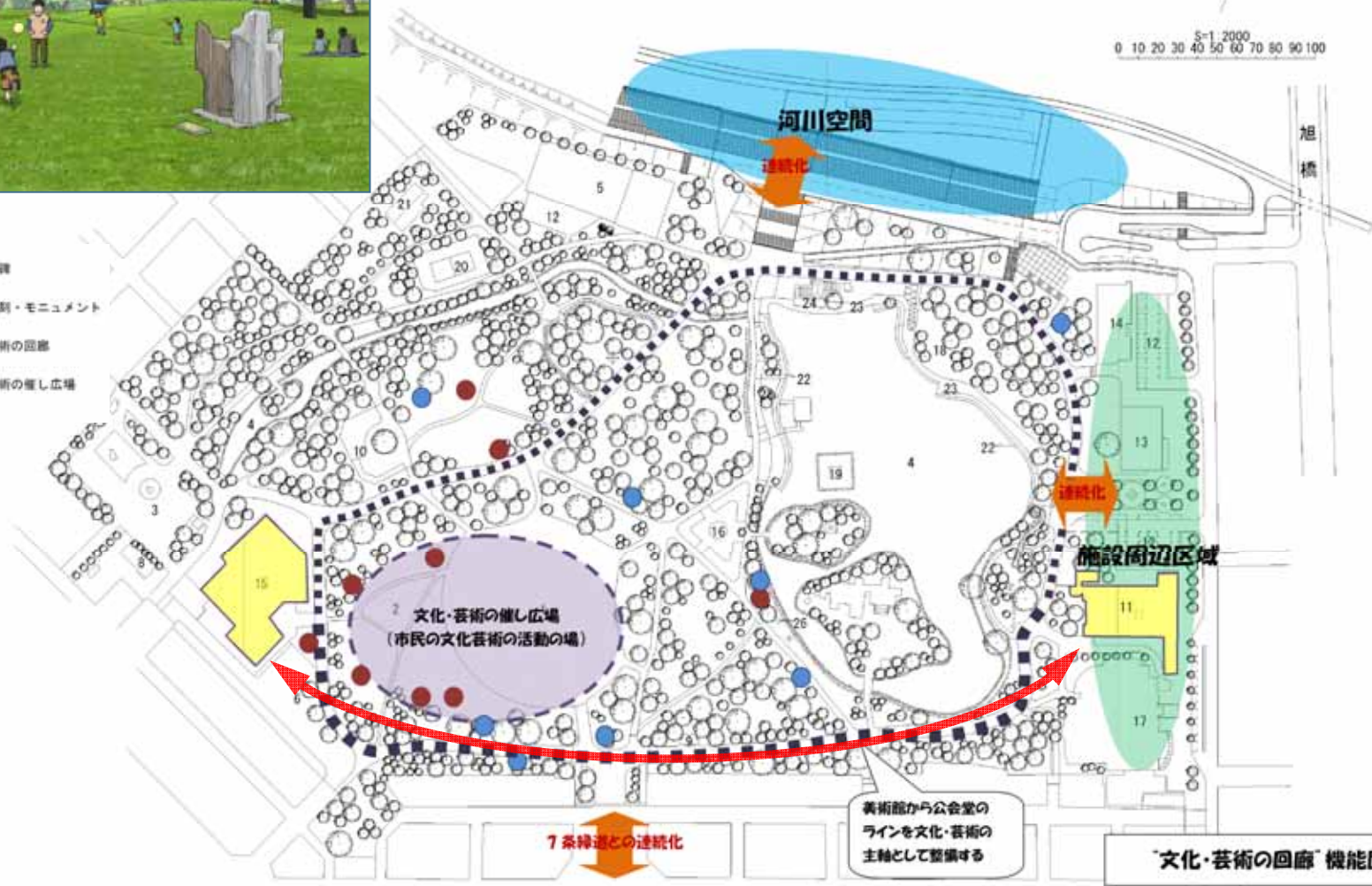


既存の文化・芸術施設を活かした回廊の整備を進める  
公園全体のバランスを考慮し、旭川にゆかりのある作品を配置する



- 既存の石陣
- 既存の彫刻・モニュメント
- 文化・芸術の回廊
- (dashed) 文化・芸術の催し広場

凡	例
1	自由広場
2	芝生広場
3	遊戯広場
4	池
5	プール
6	駐車場
7	売店
8	管理棟
9	便所
10	休憩所
11	公会堂
12	駐車場
13	石狩川治水学館
14	常設館
15	美術館
16	修景広場
17	図書館
18	天文台
19	噴水
20	テニスコート
21	浄化施設
22	水中デッキ
23	水上テラス
24	ボートのりば
25	管理駐車場
26	地下ポンプビッド



## 常磐公園全体 常磐公園の新たな魅力の創出 ～ 市民の文化・芸術活動を促す多目的広場の整備～

既存の自由広場は土埃が舞い、広場の利用が減少していることから、市民の活動の場として利便性の高い広場の整備をし、“文化・芸術の催し広場”として展開していきます。

多目的広場として、市民の文化・芸術の活動の場（屋外コンサートや演劇など）として利用できるよう各種イベントの開催時に必要となる設備を整備します。

現況の雨水排水機能を改善していきます。

日常で子供達たちの遊びやスポーツなどに利用できる広場として整備していきます。



2010 旭川食べマルシェ開催風景

## 常磐公園全体 常磐公園の新たな魅力の創出 ～公園及び周辺施設とのわかりやすいサイン計画の充実～

公園への円滑なアクセスは、充実したサイン計画により7条緑道、施設周辺区域及び河川空間との回遊性や快適性を高めます。

施設周辺区域や河川空間と統一したサイン計画を行うことで、視覚的な一体感と連続性を高めます。



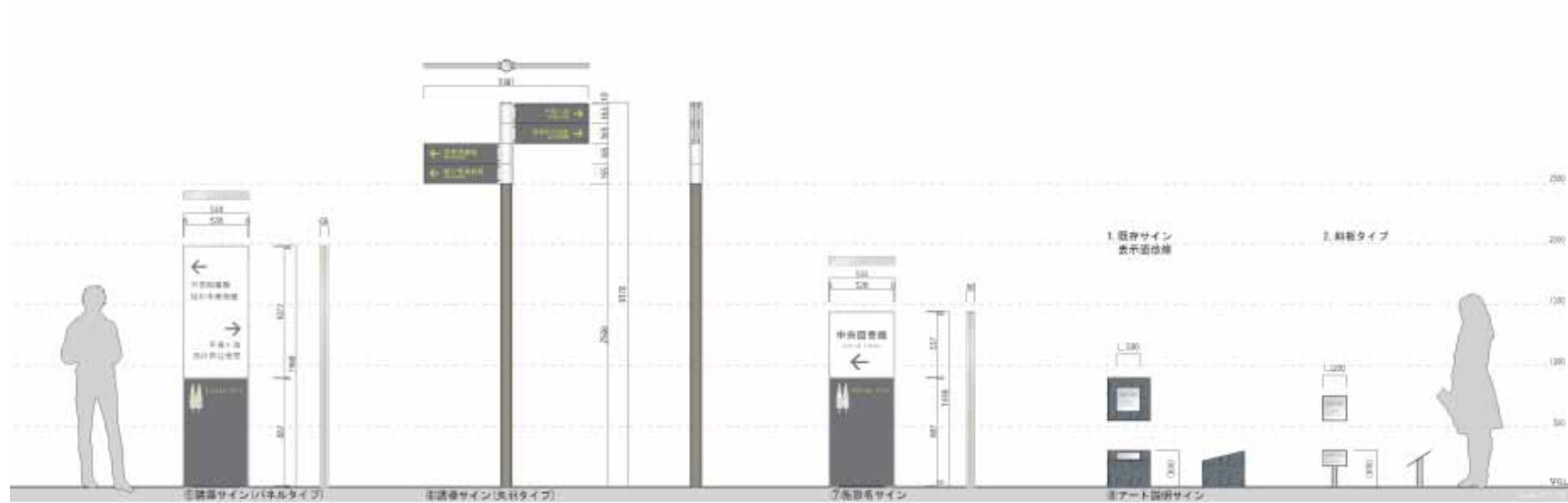
車両誘導サイン

駐車場案内サイン

総合案内サイン(大)

総合案内サイン(小)





誘導サイン

誘導サイン

施設名サイン

アート説明サイン

● 既設のサインが設置している場所

凡	例
1	自由広場
2	芝生広場
3	遊戯広場
4	池
5	プール
6	駐車場
7	売店
8	管理棟
9	便所
10	休憩所
11	公会室
12	駐車場
13	石狩川治水学習館
14	常設館
15	美術館
16	修景広場
17	図書館
18	天文台
19	噴水
20	テニスコート
21	浄化施設
22	水中デッキ
23	水上テラス
24	ボートのりば
25	管理駐車場
26	地下ポンプビット



S=1:2000  
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

既設サイン配置図

避難場所のサイン



総合案内サイン



情報案内サイン



施設誘導サイン



施設名サイン

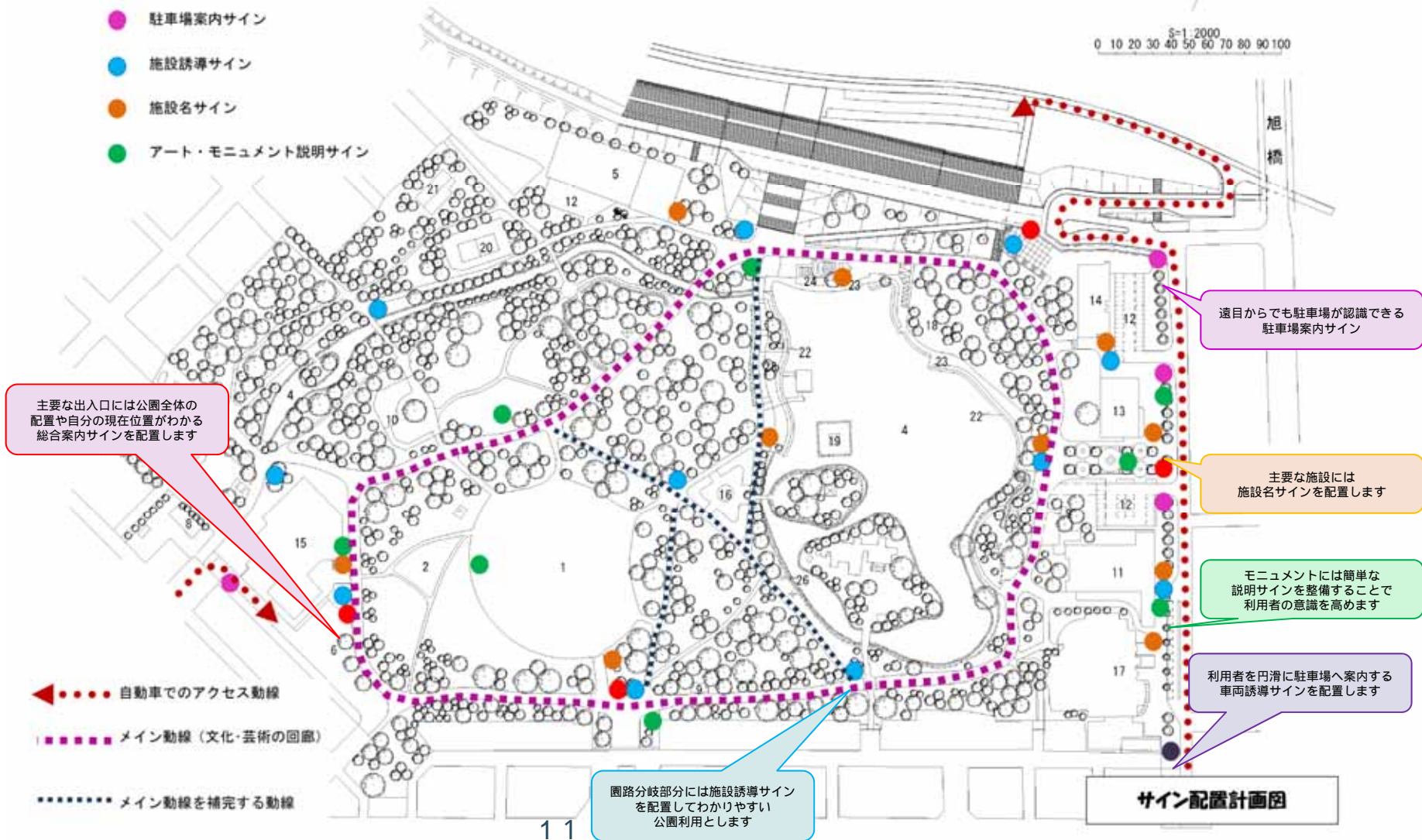
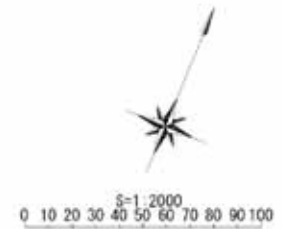


駐車場案内サイン



主な既設サイン施設の写真

- 総合案内サイン
- 車両誘導サイン
- 駐車場案内サイン
- 施設誘導サイン
- 施設名サイン
- アート・モニュメント説明サイン



## 施設周辺区域 新たな賑わい空間の創出と河川空間・常磐公園と一体化した整備 ～ 交通渋滞の緩和と新たな賑わい空間への展開～

新たな賑わいと利便性に優れた都心空間となるよう、学習館横に新たなエントランス広場を整備します。エントランス広場では、文化・芸術ゾーンにふさわしい彫刻やモニュメントを配置するとともに、常磐公園との連携を高めた計画とします。

図書館及び公会堂前には、路上駐車による交通障害を緩和するため、一時停車スペース（7台程度）を確保します。

常磐公園及び周辺施設への円滑なアクセスを確保するため、利便性に配慮した駐車場を整備します。公会堂への搬入車両通路の整備をします。

既設のオブジェや移動式花壇などは、景観等を考慮して撤去や再設置を行います。



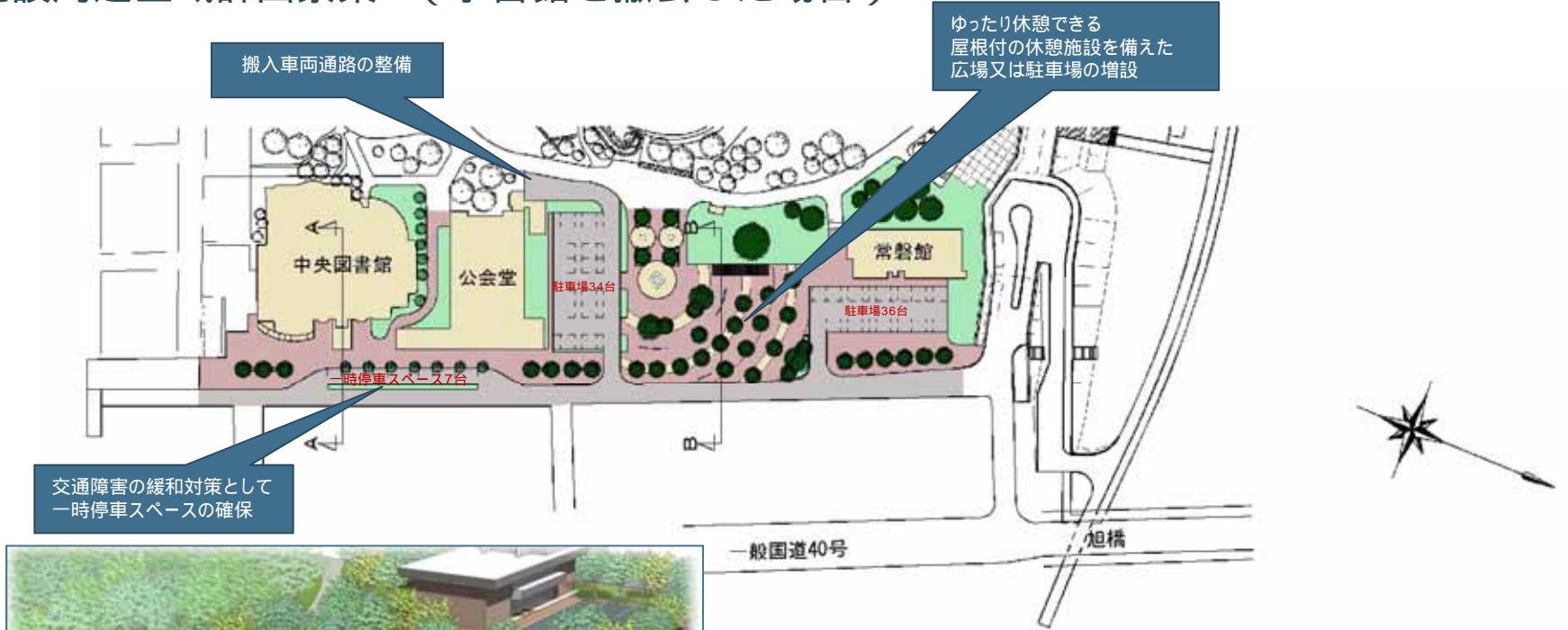
図書館・公会堂前の一時停車スペース  
イメージスケッチ

# 施設周辺区域計画素案1（学習館を残した場合）



施設周辺区域エントランス広場イメージスケッチ  
（学習館を残した場合）

# 施設周辺区域計画素案2（学習館を撤去した場合）



施設周辺区域エントランス広場イメージスケッチ  
（学習館を撤去した場合）

## 河川空間 文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

堤防を緩傾斜化することにより、常磐公園との一体的な利用促進を進めます。

常磐公園の慢性的な駐車場不足を補うべく、常設80台の駐車場を確保するとともに、常磐公園との動線を強化します。

既存の樹木については、樹木の保全区域を設けたり、移植可能な樹木や残置可能な樹木については専門的な見地に基づき、可能な限り保全などを行っていきます。賑わいのある水辺空間を創出するという観点から、オープンカフェなどの設置を計画していきます。



河川空間周辺文化・芸術エリア  
イメージスケッチ



## その他 老朽化した施設の更新計画 ～安全で快適な施設サービスの提供～

老朽化した遊具、照明施設およびトイレなどは、更新を図っていきます。  
トイレ・園路などのバリアフリー化を図っていきます。



遊具広場  
イメージスケッチ